



ライフプランを 考えましょう

- 1 マネープランと一体不可分のライフプラン
- 2 40代はライフプランの曲がり角
- 3 50代のライフプランは人生の後半を見据えて

1 マネープランと一体不可分のライフプラン

ライフプランとは本来、いつ何をするかという将来の行動予定のことですが、何をするにもお金のかかる世の中、自己実現にはお金の裏付けも必要です。今あるお金のうちいくらかを今使い、何をするためにいつまでにいくらを残しておくのかという視点も必要です。ライフプランは、マネープランと一体不可分として考えていく必要があります。

2 40代はライフプランの曲がり角

若いときは、結婚・子育て・住宅取得など目前の課題が明確かつ山積みで、限られた収入の中で課題をどのようにクリアしていくか。ライフプランを考える余裕がない中、マネープラン作成の必要性に迫られます。

40代も同様に課題が山積みではありますが、20代30代の経験を生かし、比較的余裕が出てくる時期になります。この40代でぜひ意識したいのが、少しずつ近づいてくる自

分自身の老後です。まだ外見も気持ちも若者でリアリティがもてないかもしれません。子どもの教育費や住宅ローンの返済などの負担が重く、「とても自分の老後など考えられない」という方もいらっしゃるでしょう。

しかし、いざ定年退職となったときに老後資金が足りないことに気付いても、もはや選択肢は節約などに限られてきます。大きな資金づくりは時間を味方につけるのが一番です。今の家計からどうやって老後資金を取り分けていくか、40代からライフプランという意識をもって将来への準備を始めましょう。まずは老後どのように過ごしたいのか漠然とでもいいので考えてみるのが第一歩になります。趣味の山登りを続けようといったことや、世界遺産を巡る旅行をしようなど自分のやりたいことを思い浮かべてみましょう。次に自分のやりたいことにはいくらお金がかかるのかを調べ、夢の実現のためにキャッシュフロー表を作成し、計画的に資産を管理し始めましょう。仮にやりたいことが思い浮かばなかったとしてもお金は必ず必要です。少額でもいいので老後のために定期的な貯蓄を始めましょう。

3 50代のライフプランは人生の後半を見据えて

定年という大きな節目を迎えたときの選択がその先の生活を決定づけます。50代も教育費や住宅ローンの負担は重いですが、定年後の生活を段々と具体的に想像できるようになります。定年後を念頭におき、今、何をすべきかを逆算して考え始めましょう。

ポイントは3つ、いつまでどんな働き方をするか、年金はいつからいくらもらえるか、そして生活費はいくらかかるかです。生き甲斐として、働けるだけ働きたいという考えなら、長くいい仕事を得られるようにキャリアプランを立てなくてはなりません。早めにリタイアして、会社員時代にできなかったことにチャレンジしたいという考えであれば、そのための経済的準備と家計のスリム化を図っておく必要があるでしょう。年金は貴重な収入源ですから、その知識も欠かせません。

避けなくてはいけないのは情報・お金・心の準備がないまま漠然と定年を迎え、不本意な選択をして後悔すること。定年以後は自分の思うように過ごすことが許される時間です。充実した時間を過ごすためにも準備をしっかりしましょう。そのための準備としてライフプランの見直しも必要です。自分の現在の状況や年金額等に関して得た知識を活用してライフプランの見直しをしてみましょう。まだライフプランを作成していない方は、定年を意識してとにかく一度、ライフプランを作成してみたいかがでしょうか。ライフプランの見直しや作成をしたら、自分の資産状況に応じて具体的な貯蓄計画・家計の見直し計画を立てましょう。ライフプランの作成や資産管理の把握などに際しては、マネープランのテキストの巻末にある資料を参考にしてください。